



地域ボランティアに感謝



弥生小学校では現在、学校支援ボランティアとして読み聞かせ、英会話、囲碁・将棋、和装・礼法、音楽、花壇の整備など様々な分野で地域のみなさんや学生さんの協力をいただいています。

保護者をはじめとして「学校をより良い環境に」という思いや専門的知識を持った地域のみなさんが、子どもたちに様々な体験活動の機会を与えてくださっています。これにより学習がより幅広く深みのあるものに発展しており、ありがたいことだと感謝しています。

また、このような活動を通して学校の職員や児童が地域のみなさんと顔見知りになり、日常的にコミュニケーションを図るようになることも大切だと思っています。

(弥生小学校 寒竹敏江校長)



弥生小学校 読書ボランティア

朝の授業前の10分間、毎月2回程度読書ボランティアの活動をしています。メンバーは現在17人。子どもたちが本を好きになり、読んであげた本を自分で図書室へ借りに行ってくれていることを聞くとうれしいです。また買い物に行っていると、子どもたちから「おばちゃん!」「次の本は何?」などと声をかけてくれ、子どもたちとのいい関係もできたように思います。本の選定について、先生ともコミュニケーションを取るようになり今まで以上につながりもできました。今後も子どもたちのためにこの活動を続けていけたらと思います。

(代表 中嶋裕子さん・沼)



●学校支援ボランティアとは?

保護者を含む地域の人が、学校の教育活動の支援をすることです。

●どんなことをするの?とか?

津山市では、活動を3つの分野に分けています。

安全支援	環境整備支援	教育支援
校外学習での参加者の安全確保の補助、登下校時の児童の見守り活動など安全確保にかかわること	花壇の整備の手伝い、図書室の本の整理など学校内の環境整備にかかわること	将棋クラブの指導の補助、本の読み聞かせ、習字指導の補助など教育活動に直接かかわること

●どうやって活動できるの?

まず、学校支援ボランティアとして登録してください。登録後は教育委員会でもボランティア保険に加入します。実際にボランティアをお願いするときは、学校から直接本人に依頼の連絡をします。

●お申し込みの登録ページ

教育委員会社会教育課(市役所東庁舎3階)に登録用紙を提出してください。登録用紙は社会教育課にあります。ご希望の人には郵送します。

●申し込み・お問い合わせ

社会教育課 32・2188、または市内の小中学校



学校支援ボランティア

今、学校では学習や環境の充実、子どもたちの生きる力を大きく伸ばす体験活動に、地域の力を取り入れることが注目され始めています。津山市でも、地域の力が学校支援ボランティアとなって大きな力を発揮しています。



久米中学校 講座学習ボランティア

ここでは3年生を対象に、総合的な学習の時間に「絵手紙、囲碁、将棋、編み物、料理、版画、茶道、手品・奇術、書道、スポーツ教室」の10講座を地域の人が講師となって生徒に指導しています。講師からは「子どもが上手になっていく姿を見てうれしい」「外でも手を振ってくれて孫のようにかわいい」「子どもとのふれあいが楽しい」「たくさんの元気をもらっています」との声が聞かれました。地域の人たちは生涯学習で取り組んでいることを中学生に伝え、生徒たちはこの学習を通して、これまで交流のなかった地域の人に出会って様々なことを学びます。



平川正樹さん 石井昌子さん 馬坂静代さん
(美咲町・久米) (中北下) (油木下)
(郵便局勤務)

加茂小学校 学生ボランティア



週1回、1年生のクラスに学生ボランティアとして入っています。内容はプリント・連絡表のチェックや授業の補助などです。戸惑うこともありましたが、先生方にアドバイスをいただいたり、子どもたちも遊んでいるうちに心を開いてくれ、今ではお姉さんや友だちのように身近で話しやすい存在として慕ってくれています。学校や子どもにかかわりを持って、大学ではできない勉強をさせてもらっていることは、教員をめざす私にとっても貴重な経験です。(春名宏美さん・美作大学4年)



林田小学校 子ども見守り支援ボランティア



林田小学校では児童の下校時の安全を確保するため、子ども見守り支援ボランティアを募集したところ、地域から210人もの登録がありました。子どもたちの安全を心から願う地域の人たちに守られて、児童は安心して下校しています。



中正小学校 パソコンボランティア



コンピューターで地域に役立てることがあればという思いから参加しました。パソコンの授業や学校のホームページづくりのお手伝いをしています。(神田敬三さん・南方中)



大崎小学校 環境整備ボランティア



花がなくなる冬の花壇に、趣味で作っている葉ボタンを植えています。好きなことでみなさんに喜んでもらえるのが何よりです。(木多昇さん・金井)

